

J R 東海労幹関西地「申」第3号
2020年7月31日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

新幹線メンテナンス東海社員の新型コロナウイルス感染に関する申し入れ

7月24日、新幹線メンテナンス東海株式会社の社員が新型コロナウイルスに感染していることが分かったと会社掲示が出された。掲示では、「当該社員は、業務中は常時マスクを着用しており、必要な箇所の消毒も完了していますので、皆さんは過度に心配することなく、引き続き感染防止に留意しつつ通常通り業務を行ってください。」とある。掲示には、当該社員が感染した日時、行動、業務した場所等が不明である。J R 東海の駅係員、乗務員や当日の関係社員等に会社として積極的に情報を共有し、関係する全ての施設の消毒や、PCR検査等について関係保健所等に対して要請を行うべきである。

よって下記のとおり申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、社員の健康管理及び労働環境の整備に努めること。

記

1. 新型コロナウイルスに感染した新幹線メンテナンス東海の当該社員の発症2週間（最大潜伏期間）前からの拘束時間内の行動について明確にすること。
2. 当該社員の行動に基づき、接触した関係社員（新幹線メンテナンス東海）のPCR検査を実施すること。
3. 感染拡大防止の観点から、駅係員・乗務員を中心に感染した場合の対策等についてどのように考えているのか明らかにすること。

4. 当該社員が使用した施設等に出入りする全ての社員及び関連会社等に、今事象について明らかにし、体調不良等異常を感じた場合は、ただちに医療機関を受診するよう体制を整えること。
5. 社員の安全とお客様等の信頼を維持するために、社内に入る前に、消毒液での殺菌後、非接触体温計で検温を行い37.5度未満であることを確認し入室させること。

以上